

寅さんのいる風景 ～安部駅～

水彩画・亀崎敏郎



わかてつ便い

発行、若桜鉄道もりあげ隊

CONTENT

- 若桜鉄道社長、90周年に寄せて
- 旅のスケッチ画家、安部駅を描く
- 90周年おめでとう！思い出している
- 若桜鉄道俳句&川柳を大募集！



安部駅を描かれた亀崎敏郎さんのプロフィールとコメントを裏面に掲載しています。

若桜鉄道開業90周年に寄せて

若桜鉄道株式会社代表取締役社長

酒嶋 優



この4月から若桜鉄道株式会社の社長を務めております酒嶋です。よろしくお願いたします。

若桜鉄道が走る八頭町、若桜町とは、県職員時代いろいろとご縁がありました。一番大きな縁は、平成の大合併で現在の八頭町が誕生しましたが、平成15年当時、若桜町を含む八頭郡東側の合併協議の事務局に県から派遣され、八頭町誕生まで見届けさせていただいたことです。この度またご縁があり、若桜鉄道の社長を務めることになりました。

くしくも今年、若桜線は国鉄時代の全線開通から数えて90年を迎える記念すべき年です。90年間という長きに渡り、若桜線を支えてこられた地域及び関係者の皆様に、改めて感謝申し上げます。深く敬意を表します。人口減や新型ウィルス蔓延など、地方鉄道をめぐる環境は厳しい状況ですが、もりあげ隊をはじめ地域の皆さんと力を合わせ、勢ぞろいした観光列車の活用を盛り上げるなど、100周年に向けて尽力していきたいと考えております。

若桜鉄道開業90周年おめでとうございます

(有)花原石材店

〒680-0405 八頭町隼郡家226-1
電話/FAX 0858-72-3178

お墓でのお悩みごとはありませんか？

- 戒名板、法名板に追字彫りしたい
- たくさんあるお墓を一つにまとめたい
- 墓地の草取りが大変...
- お墓にもっと花を飾りたい
- お墓が傾いている

すべて当店で解決します
お気軽にお電話ください

若桜鉄道開業90周年おめでとうございます

若桜鉄道 若桜駅構内 わかさカフェ『retro』



- <drink>
ハンドドリップコーヒー
紅茶
ミックスジュース
メロンクリームソーダ etc...
<food>
ハンバーガー
サンドイッチ
ケーキセット

レトロな落ち着いた雰囲気でお皆様をお待ちしています

あの日あの頃

90周年に寄せて

若桜鉄道の思い出

空席探しに苦労した昭和60年

午前7時半、92メートルの乗降場に頭とお尻をはみ出し全長140メートルの若桜発鳥取行7両編成が停車する。通勤通学者で満席模様、空席探しに苦労した昭和60年国鉄若桜線車駅。私の高校時代での毎朝だ。

当時本線は存亡の危機にあって各駅には『乗って残そう若桜線』や『若桜線廃止反対』などの看板類が設置されていた事を思い出す。

昭和5年開業以来多くの方の支えにより90年目を迎えた鉄路である。この後も世紀を超え、地域の元気の源泉として活躍してほしい。私も蒸気の釜で燃える石炭の様、熱い心で若鉄を後押ししたいと思う。(八頭町・木下裕史)

昭和62年、第三セクターとして走り始め当時の若桜鉄道



血は争えない!? 駅まで猛ダッシュ

1 番列車の発車2分前に家を出て、指定席の様に毎日同じ車両、同じ席に滑り込む。

朝練があると言ってもは、因幡船岡の駅で降りて、なんと！線路伝いに船久橋のたもとまで歩く。高校生だった頃、7両編成で走っていたと記憶する国鉄若桜線での思い出です。

かれこれ35年の時を経て、始発列車3分前に猛ダッシュで家を飛び出す息子に、まったく！早くしなさい！と言う私。古き良き時代の思い出は、息子には内緒です。(若桜町・上川佳巳)

今でも鮮明によみがえる思い出

懐かしい場所を訪れると、当時の思い出が鮮明によみがえり、うれしくなることがあります。

中学校・高校と6年間の通学で、毎日のように乗った若桜鉄道に15年ぶりに乗った時はまさにそんな気持ちでした。

車両デザインは新しくなりましたが様々な所に面影が残り、当時と変わらない車内の匂いやアナウンスに、学生時代の出来事や気持ちが自然と思ひ返されとても楽しいひと時でした。

年月が経ってもそんな気持ちへと導いてくれる懐かしい雰囲気が、若桜鉄道の魅力ではないかと思います。

(八頭町・城光寺義顕)

旅スケッチ画家

亀崎敏郎さんのご紹介

安部駅の水彩画は2017年、亀崎さんが初めて鳥取を訪れた際に描かれたものです。若桜鉄道の駅を一つ一つ回られたそうです。今春には鳥取市内で個展を開催されていたとのこと。ご縁があって今号に掲載させていただけることになりました。ありがとうございます。ご本人からのメッセージです。

「終着駅は私の永遠のテーマです。古き良き時代の終着駅は少しずつ時代の流れとともに我々の目の前から姿を消していますが、心の終着駅はいつまでも想いがある限り、無くなることはありません。取り壊されて近代的な駅舎に変わったとしても駅の裏に立って目を閉じれば小さい頃の風景がまぶたの裏に、そして蒸気機関車の汽笛が聞こえてくるかもしれません。その想いを胸に鉛筆と筆を走らせていこうと思いません」

次号で若桜駅の水彩画を掲載する予定です。

◆プロフィール◆

1948年生まれ、熊本県出身名古屋在住。
1973年、建築イラストレーターとしてスタート。
2015年～全国個展ツアー「水彩スケッチ旅物語」を開催中。
(鳥取を含む全国各地でワークショップも開催)
2016年、IWS国際水彩画展に参加出品
2018年、イタリア・ファブリアーノ国際水彩画展にて日本代表としてデモンストレーションパフォーマンス
著書に「水彩スケッチ旅物語～終着駅のある風景」(株)日貿出版社(日本自費出版文化賞入選)など。

気軽に応募
してくださいね

若桜鉄道 俳句・川柳を 大募集!



若桜鉄道を愛する想いを何か「カタチ」にできないだろうかということで、この度ももりあげ隊として広く若桜鉄道に関する俳句、川柳を募集することにしました。ゆくゆくは、若桜鉄道カルタを作るべく、次なる100周年に向けての活動したいと思います。季語を入れた俳句、ユーモアにあふれた川柳、五七五にとらわれない自由律の句でもOKです。若桜鉄道、沿線の風景、若桜谷の暮らしなどをテーマに、ひとり何句でも送ってください。応募された中から数点をこの広報紙で披露させていただきます。みなさまふるってご応募よろしくお願いします。

応募 方法

次の2箇所に応募用紙と投句箱を設置します。応募用紙に作品とお名前またはペンネームを書いて投句箱に入れてください。

・八頭町観光協会(郡家駅構内「ぶらっとぴあ・やず」)

・若桜町観光案内所(若桜駅前通り)

Eメールでもどうぞ。(形式は問いません)

八頭町観光協会 yazukanko@sage.ocn.ne.jp

若桜町観光協会 kanko@hal.ne.jp

【締め切り】10月31日(土)

